

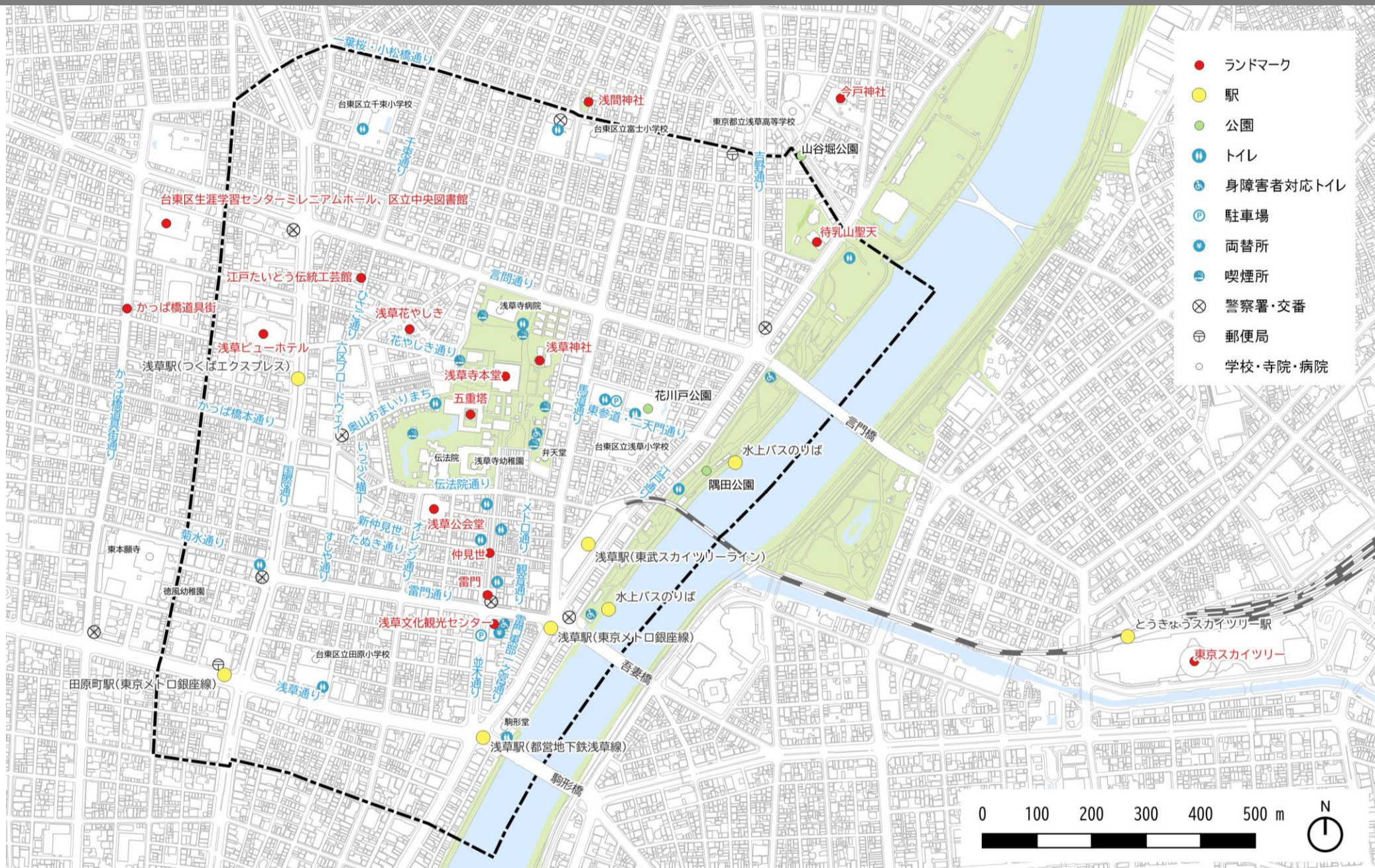
たいとうアイデアソン2024

浅草の回遊性について

台東区

都市づくり部 地域整備第二課

浅草の現況 -位置



浅草の現況 -分野別のまちの特徴

まちの特性（強み）

まちの課題（弱み）

回遊・滞在

- 雷門～仲見世～浅草寺周辺は地区の特徴的な空間
- 個性的な通りや界隈が集積し、文化財・観光施設が集積

- 歩行者の一部エリアへの集中
- 案内機能の充実やトイレ環境の整備
- 狭小な駅前滞留空間

防災・避難

- 隅田公園などのオープンスペース
- 自主的な防災活動の展開
- 地元の防災意識

- 地域のさらなる防災性の向上
- 帰宅困難者への対応
- 発災時の適切な避難誘導
- 狭小な駅前空間の改善

交通結節

- 鉄道やバスなど、多様な交通手段でのアクセスが可能
- 舟運など他地区には少ない多様な交通機能が集積

- 鉄道間の乗換利便性の向上
- 交通機関の乗降場のネットワーク化
- 放置自転車・放置バイク対策

水辺空間

- 隅田川の水辺空間に隣接した立地
- テラス、船、リバーウォークなどの親水空間

- 水辺空間への円滑な誘導
- にぎわいある水辺空間の創出
- 船着場の柔軟な運用

	2000年代	2010年代	2020年代	2030年代	2040年代
社会全体の動向	●2008 国内総人口がピーク ●2008 リーマンショックの発生	●2011 東日本大震災の発生 ●2016 熊本地震発生	●2020～ 新型コロナウイルスの流行 ●2020 5Gサービス開始 ●2020 カーボンニュートラル宣言 ●2021 東京オリンピック ●2025 大阪万博 ●2027 リニア中央新幹線開業（品川～名古屋） ●2022 首都直下地震等による被害想定見直し公表 今後30年以内に首都直下地震が発生する確率は70%（区部の約6割が震度6強）	●2025 東京都の人口がピーク ●2036 国民の3人に1人が65歳以上 ●2037 リニア中央新幹線全線開業	
計画等	●2007 浅草現ビジョン策定	●2017 都都市づくりグランドデザイン策定	●2019 区都市計画マスタープラン策定 ●2020 上野地区ビジョン策定 ●2021 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針の改定 ●2025頃 新ビジョン策定（予定）		
周辺の動向		●2012 東京スカイツリー開業	●2020 すみだリバーウォーク開通 ●2020 東京ミズマチ開業 ●2020 両国リバーセンター開業 ●2020 WATERS takeshiba開業 ●2022 築地地区まちづくり事業実施方針公表		
地区の動向	【交通関連】 ●2000 雷門地下駐車場整備 ●2001 めぐりんが運行開始 ●2005 つくばエクスプレス開通	●2010 水上バス乗り場建替え ●2011 二天門防災船着場利用開始 ●2016 二天門防災船着場の一般開放 ●2018 台東区タウンサイクル事業実証実験開始	●2027 銀座線（浅草～上野）開業100周年 ●2031 東武浅草駅開業100周年（当時：浅草雷門駅）		
	【まち関連】	●2012 浅草文化観光センター竣工 ●2012 隅田川親水テラス（吾妻橋～駒形橋）完成 ●2013 隅田公園のオープンカフェが開業 ●2014 テラスライトアップ開始 ●2015 浅草通りシンボルロード整備完了 ●2019 浅草六区ブロードウェイが国家戦略道路占用事業の適用区域に認定 ●2021～ 言問通り：東京ストリートヒューマン1st事業開始	●2028 浅草寺創建1400周年 ●2031 隅田公園開園100周年		●2047 台東区発足100周年

回遊性に関する現状と課題

出典：第2回浅草地区まちづくりビジョン策定委員会資料（令和5年2月）

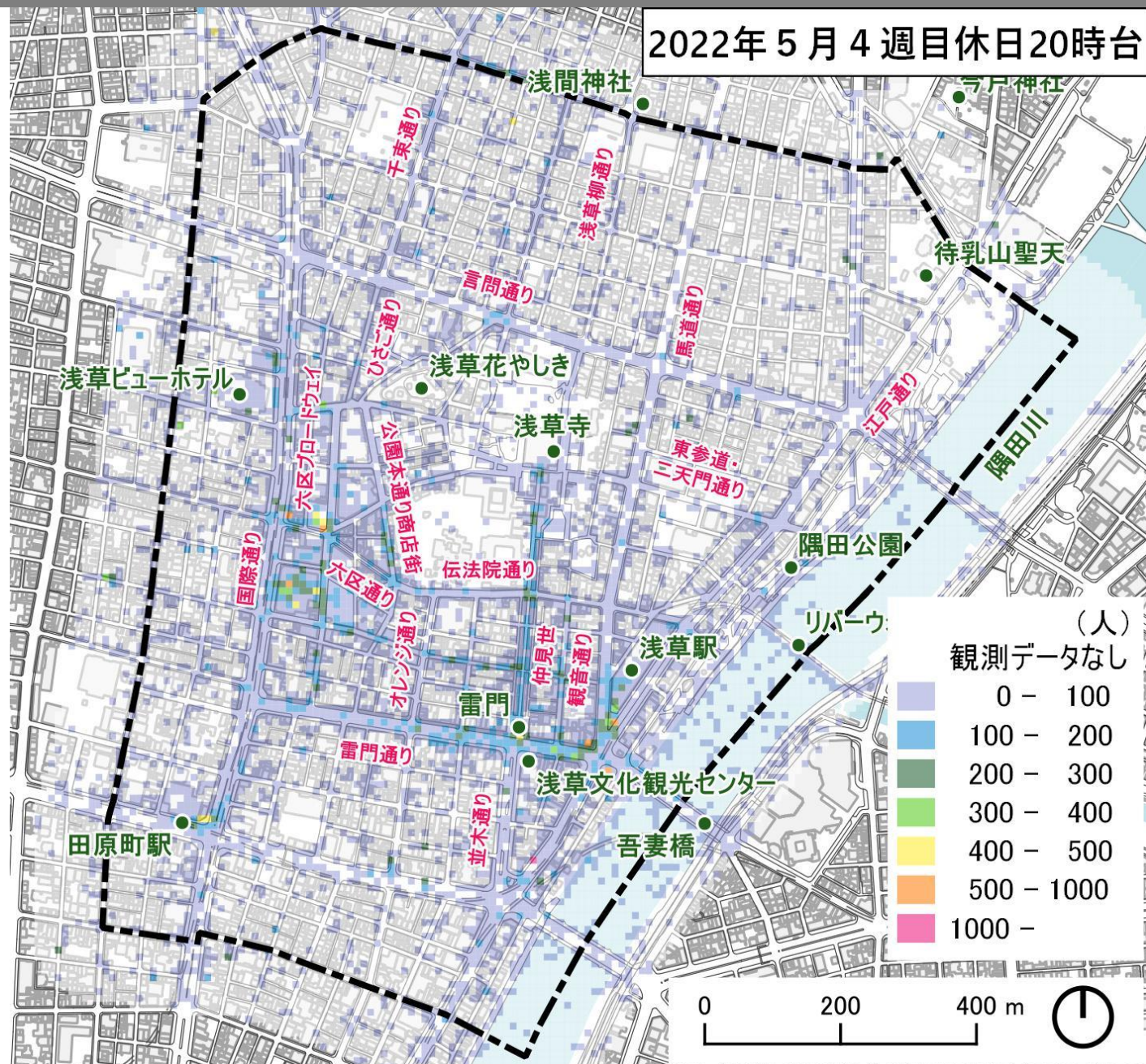
- ・ 特定の場所・時間に人が集中

【特に集中している場所】

浅草寺・仲見世・浅草駅周辺

- ・ 他地区との往来は、
上野・東京スカイツリー周辺が多い
- ・ 浅草地区から墨田区側へ行く人が多い
- ・ 夜間は人流が減少

デジタル人流データ分析にもとづくメッシュ図
（令和4年5月の休日日中と夜間における
滞在人口や回遊動向の傾向把握）



回遊性に関する現状と課題

出典：第2回浅草地区まちづくりビジョン策定委員会資料（令和5年2月）



歩行者が集中する空間
の一例

東武浅草駅前の歩行者
空間



【浅草・中部地域の将来像】

歴史・文化を育み 新たな賑わいを創造するまち

国際観光都市浅草にふさわしい、防災性の高いまちが実現されているとともに、伝統ある文化を活かした活気と賑わいのある商業空間や、歴史・文化にふれ、賑わいが広がる歩行者ネットワークが形成されています。

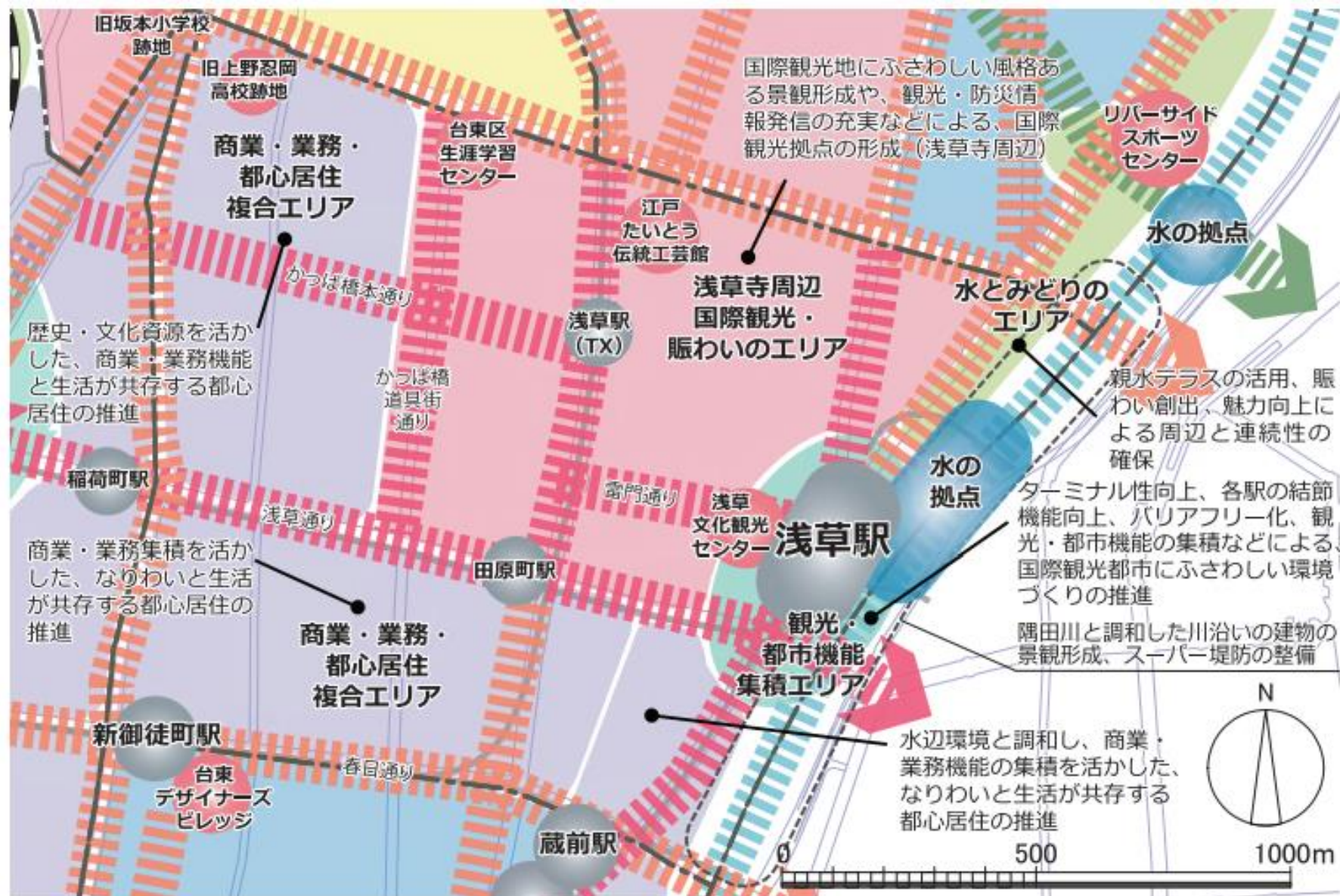
隅田川周辺の親水性の高い環境や江戸から続く歴史の風情を感じる街並みをはじめ、魅力の高い都市景観が形成されています。

観光や商業、居住等の多様な機能が共生するまちが実現しています。

区の施策や取り組み – 台東区都市計画マスタープラン（平成31年3月）の考え方

出典：台東区都市計画マスタープラン
（平成31年3月）

【浅草・中部地域まちづくり方針図】



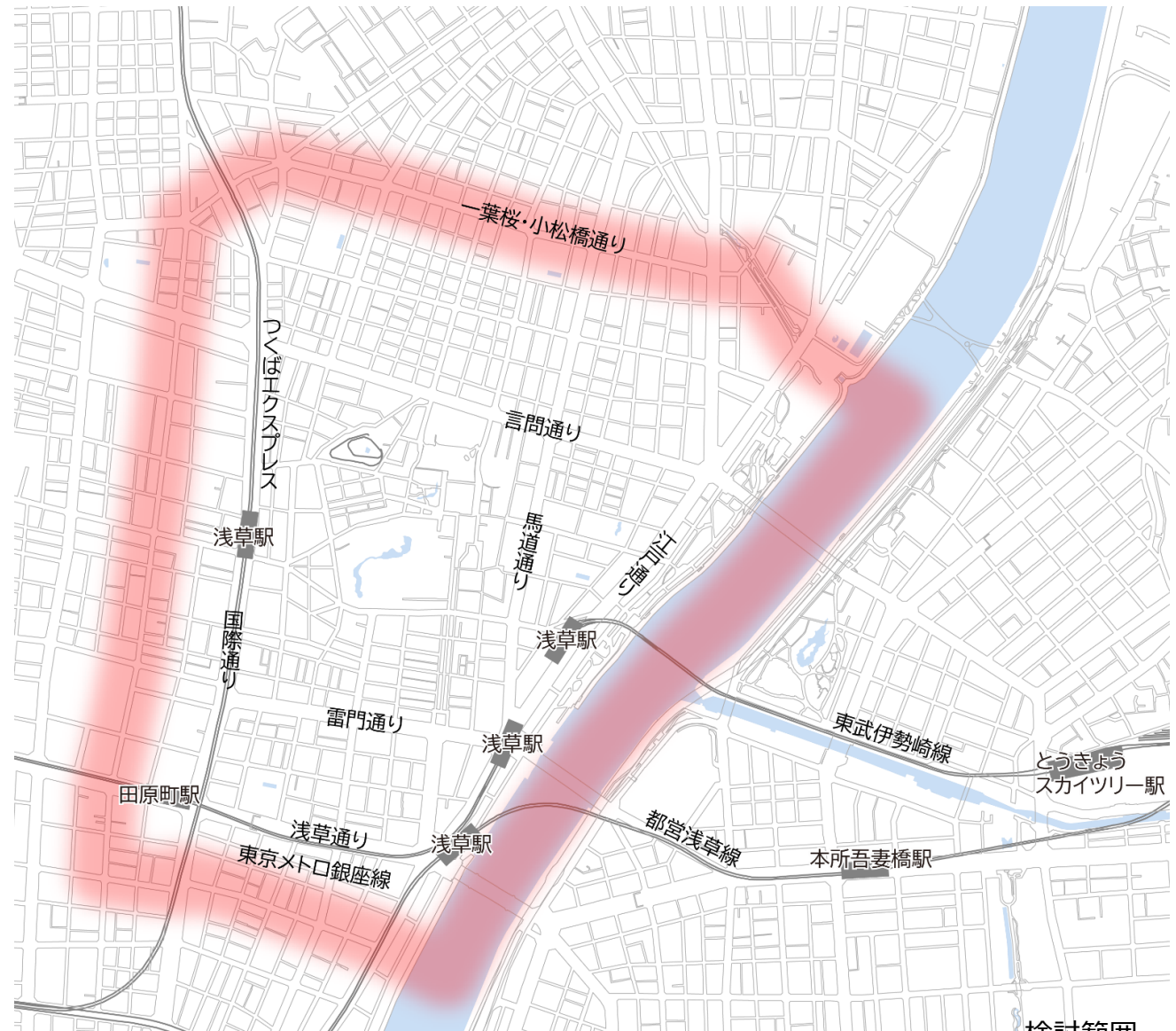
【概要】

まちづくりビジョン策定の背景・目的

- 浅草地区は、平成19年に「浅草地域まちづくり総合ビジョン」を策定し、各種プロジェクトを推進してきた。
- その後、東京スカイツリー開業や外国人を含む観光客の増加、さらにはコロナ禍など、本地区を取り巻く社会経済状況は大きく変化している。
- このような状況を踏まえ、今後のまちづくりの方向性を示す「(仮称) 浅草地区まちづくりビジョン」を策定し、浅草の多彩な資源を活かした魅力あるまちづくりを進めていく。

目標年次

- 「台東区都市計画マスタープラン」や「都市づくりのグランドデザイン（東京都）」における計画期間を鑑み、現在より概ね20年後の**2045年代頃**の将来イメージを目標とする。

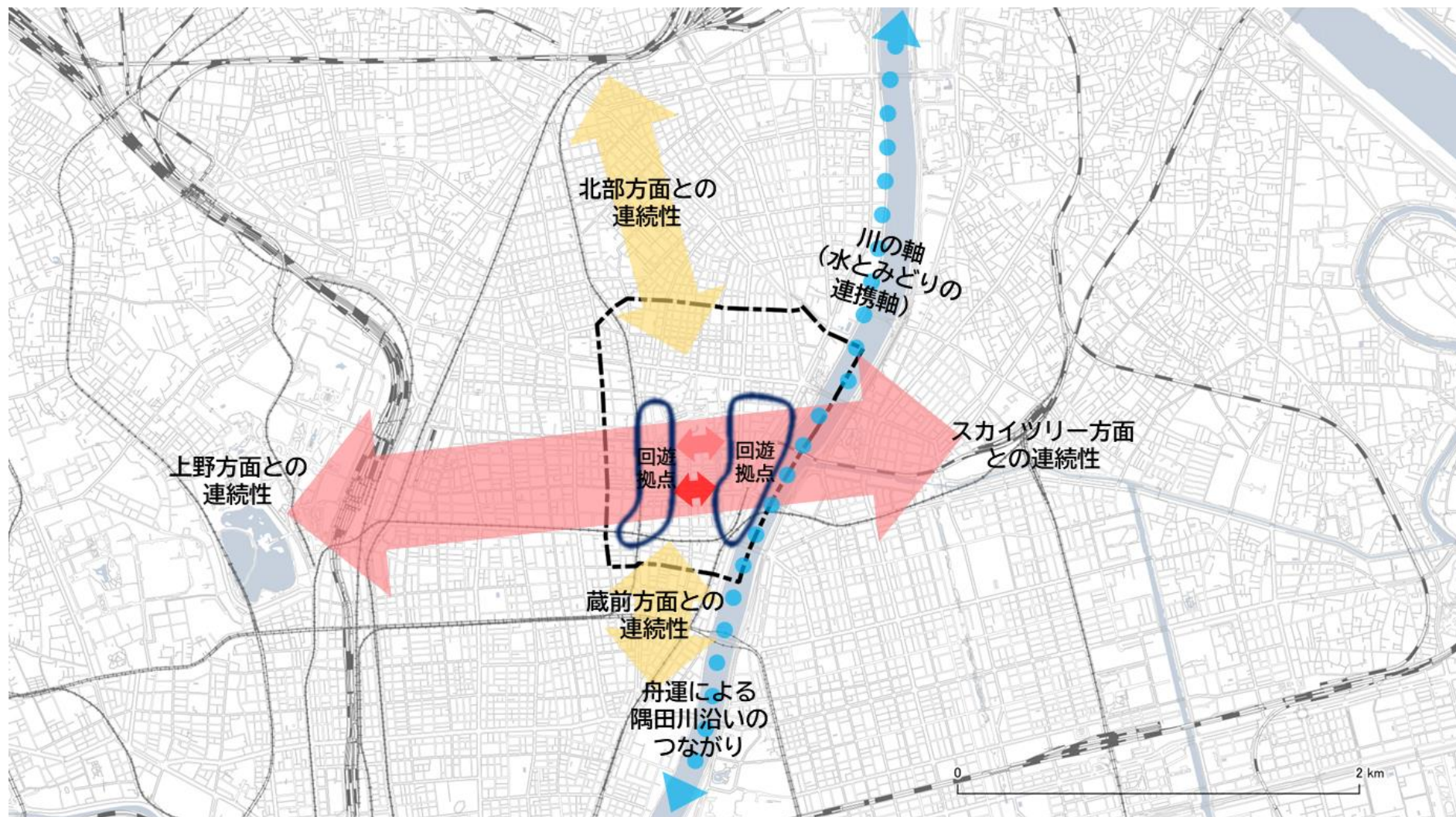


区の施策や取組み – (仮称) 浅草地区まちづくりビジョンの検討

出典：第4回浅草地区まちづくりビジョン策定委員会
資料（令和6年2月）

【浅草周辺の広域における回遊性の考え方（現在検討中）】

周辺地域とつながる広がりある浅草の形成に向けて、浅草地区の東と西にまちの拠点を設け、地区内外の回遊の起点とする



区の施策や取組み – (仮称) 浅草地区まちづくりビジョンの検討

出典：令和5年度第二回定例会産業建設委員会
資料（令和5年6月）

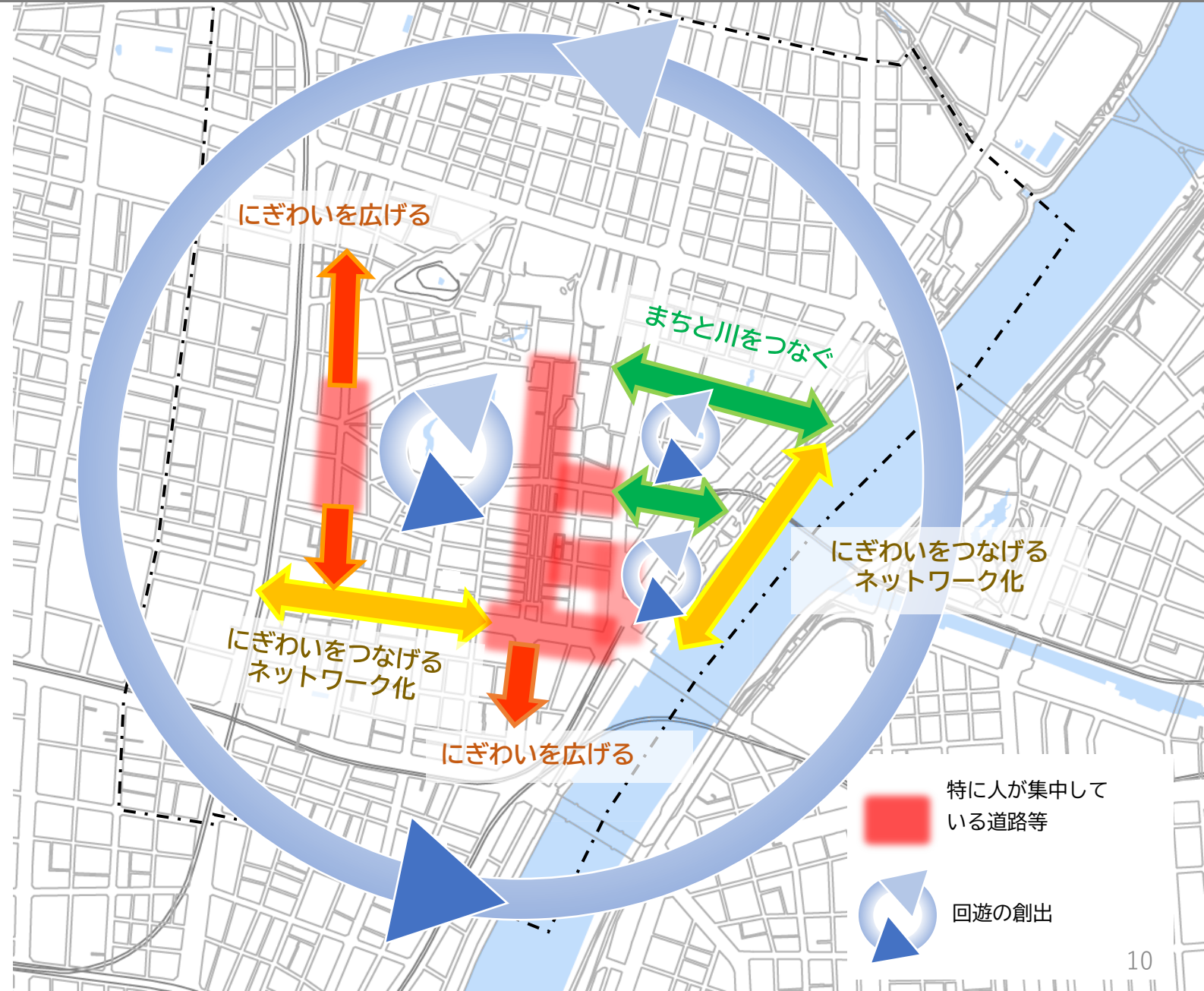
【浅草地区全体のウォーカブルの考え方
（現在検討中）】

ウォーカブルな空間づくりにより、 期待される主な効果

- ・ 混雑、密集の緩和、人の集中の分散
- ・ 通行しやすい空間の確保
- ・ 交通環境の向上
- ・ まちと隅田川のつながりの強化

ウォーカブルな空間づくりの考え方 （右図）

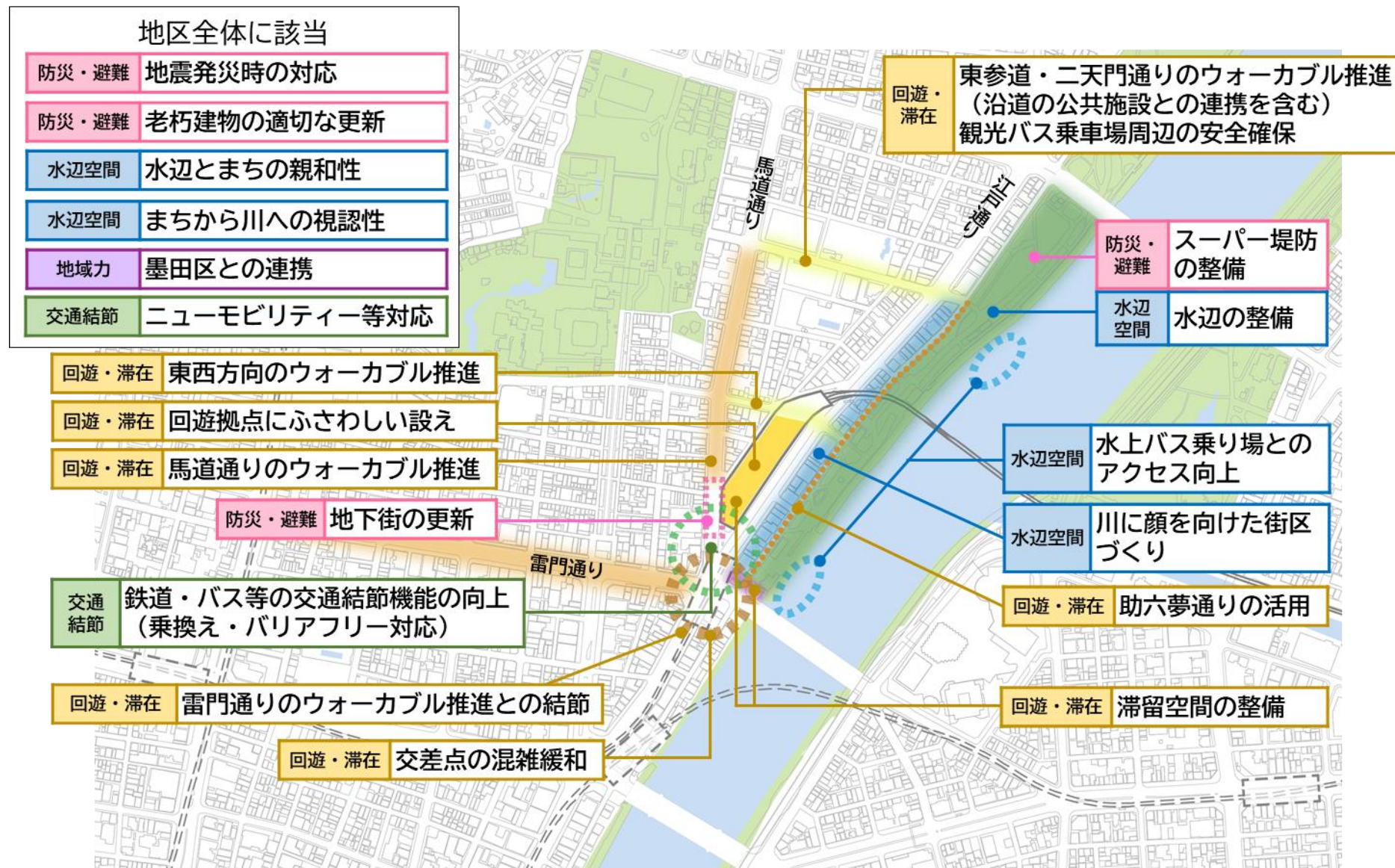
- ・ 現在、特に人が集中している道路から、ウォーカブルな空間づくりを通して、にぎわいを広げ、それを他の道路とネットワーク化していくことで、地域内の回遊を創出する。
- ・ 空間づくりにあたっては、地域の新しい取組みを引き出し、公民連携で取り組んでいく。



区の施策や取組み – (仮称) 浅草地区まちづくりビジョンの検討

出典：第4回浅草地区まちづくりビジョン策定委員会
資料（令和6年2月）

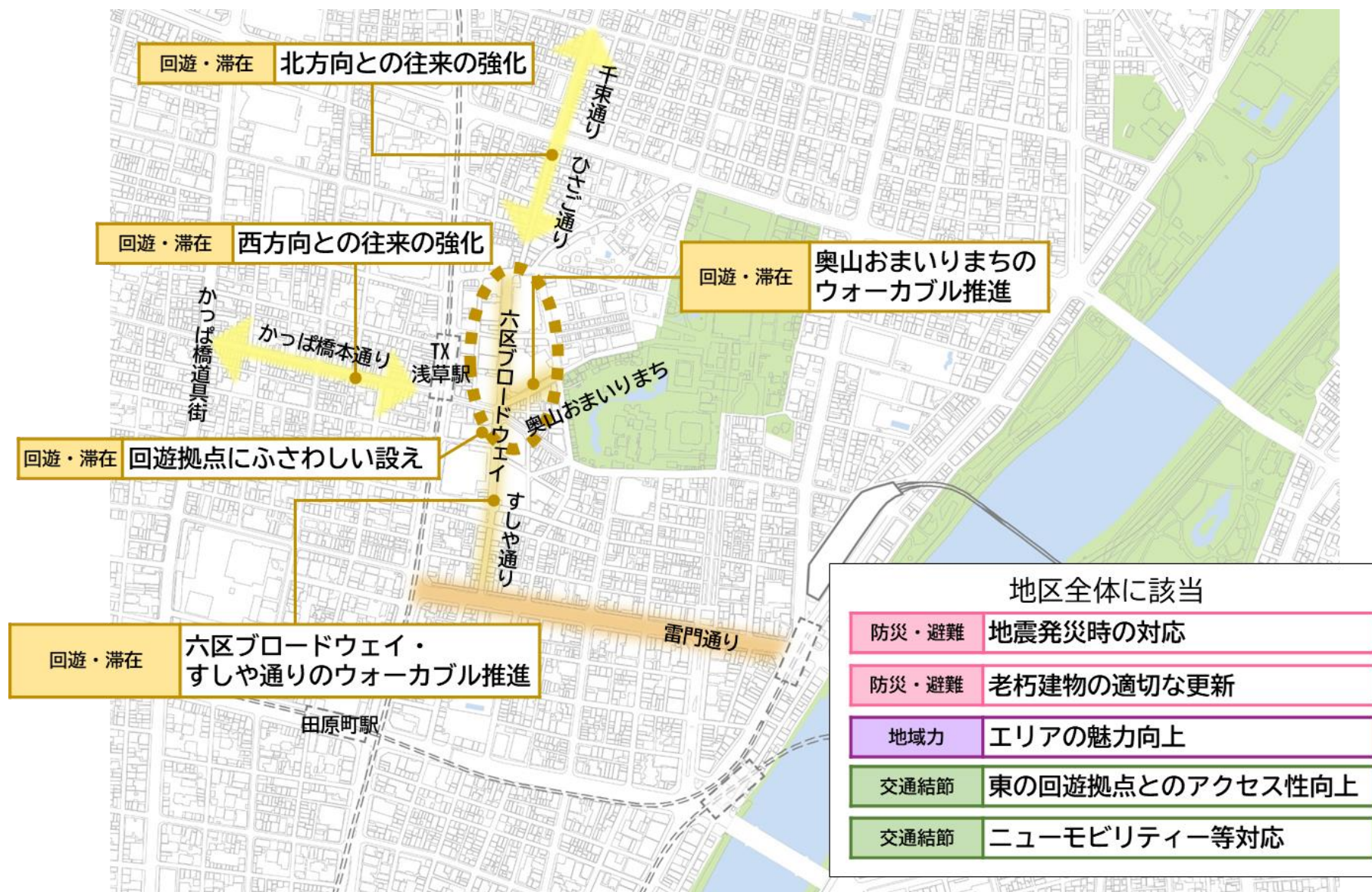
【 東の回遊拠点における検討項目（現在検討中） 】



区の施策や取組み – (仮称) 浅草地区まちづくりビジョンの検討

出典：第4回浅草地区まちづくりビジョン策定委員会
資料（令和6年2月）

【西の回遊拠点における検討項目（現在検討中）】



区の施策や取り組み – (仮称) 浅草地区まちづくりビジョンの検討

出典：令和6年度4月例会産業建設委員会
資料（令和6年4月）

【社会実験の実施】

目的

浅草地区には、回遊性の向上や防災性の強化等に向け、滞留空間・広場等の創出が重要である。浅草の主要な通りの一つである雷門通りで社会実験を実施し、今後の公共空間のあり方を検討する。

開催概要

期間：令和6年3月7日（木）～13日（水）

内容：パークレット（※）の設置

場所：雷門交差点の西側にある路上パーキング上

規模：幅 約20m×奥行（車道部 約3m, 歩道部 約2m）

実施結果

利用者数：延べ約1,200人

利用目的：休憩が多かった

主なご意見：

- 気軽に滞在できる居場所が浅草にはないので、ちょっとした休憩にちょうど良い
- 周辺で購入した飲食物を持ってきて、食べるスペースとしてちょうど良い
- 脇を車が通るので、居心地が良いとはいえなかった

（※） 車道の一部を転用し、滞留や休憩できるスペースを創出



【浅草地区まちづくりについて】

- 20年後の浅草の将来像を描く浅草まちづくりビジョンを策定する
- ビジョン策定後は、地域の皆様や区が連携しながら、浅草の将来に向けた取組みを進めていく

【浅草地区の回遊性について】

- 段階的に社会実験等を実施しながら、引き続き、浅草の道路等の公共空間のあり方を検討し、歩行者空間を広げ、ゆったりと広い範囲を、安全で快適に散策できるまちを目指していく